

2016（平成28）年度事業報告

2016年4月1日～2017年3月31日特定非営利活動に係る事業

法人の名称 特定非営利活動法人わになろう会

1 事業の方針

障がいのある人とその家族の地域生活に係るニーズに応えるとともに、特別支援教育担当者の支援に努め、地域福祉の増進ならびに人権の擁護に寄与するという方針の下に活動しました。

2 事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 障がいのある人とその家族への人権・教育・生活等に関する相談事業

人権・教育・生活等に関する相談事業（自主事業）

- ・内容：人権侵害、就学、進学、就労、生活、地域移行、保護者と学校の関係などに関する相談を受け、他の関係諸機関への橋渡しなど、問題解決に向かえるよう援助しました。
- ・日時：通年 週1回（火曜日を予定） ほか随時
- ・場所：サポートハウス「わにの家」（川崎市中原区今井南町32番11号）
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：障がいのある人、家族、教員等。
- ・支出額： 0円

(2) 地域での生活、自立活動、地域活動等の支援に関する事業

① 日中一時支援事業（川崎市指定事業）

ア) 障がい児一時預かり

- ・内容：利用児の状況、希望に応じて生活・遊び・学習などの活動に寄り添い、一人ひとりに即した発達の支援とその家族の困難に寄り添うように努めました。
- ・日時：幼児 原則として毎週月・火・水・金曜日、第1・3土曜日 10:00～12:30
実施：年間102日 *お弁当の日は13:30まで。

小学生 原則として毎週月～金曜日 放課後～17:00 火曜日 ～18:00 **実施：年間213日**
月2回 日・祝日 学校の長期休暇 10:00～16:00 **実施：年間39日**

- ・場所：第2サポートハウス（今井南町32番12号コーポ井上1F）および周辺公園など
- ・従事者人員：預かる児童数に応じて1対1
- ・対象者：3歳～小学6年生（特別な配慮や発達支援が必要な児童で医療ケアを必要としない人。病弱児・肢体不自由児を含む）で、療育手帳、地域生活支援受給者証の保持者。
- ・定員：1回の預かり数 幼児：6人 小学生：9人(休日は6人)

・支出額：20,248,234円

イ) 障がい者一時預かり＝青年の自立活動（自主事業＋川崎市指定事業）

- ・内容：創作的活動（羊毛糸紡ぎ、織物）、製品の販売活動、調理、清掃などの仕事を通して自立的な生活をする力、人と関わりながら働く力を高め、意欲的に活動できるように支援。休日には児童の活動に補助職員として参加することにより、自立への意欲が高まるようなとりくみも継続しました。
- ・日時：通年 原則として週3日（月・水・金）と休日、2日/月 **年間活動実施日162日**

- ・場所：サポートハウス「わにの家」（第1ハウス） 当面の利用者：4人
- ・従事者：各回1～2人
- ・対象者：社会参加を望みながら他に適した日中活動の場がなく、支援を要する成人。
- ・**支出額：1,578,170円**

ウ) YOU-YOU クラブ（障がい児者音楽コミュニケーション）

- ・内容：音楽、遊び、文化的創作活動を通してコミュニケーションの楽しさを体験し、社会性を身につけ、地域で楽しく当たり前で生活できることを目標に活動。
 - ・日時：月・水曜日 15:30～17:30 金曜日 16:00～18:00 長期休暇・下校の早い日は別時間を設定。 **年間実施日数 147日** **年間延べ利用数 2,650人**
- ・場所：主として、片平地域訓練室および地域活動支援センターSeeds（栗木2-2-1）
- ・従事者：各回6～7人
- ・対象者：活動の趣旨に賛同する人 主に小学生以上で、登録したメンバー 定員：20人
- ・**支出額：18,145,391円**

エ) 自由工房

- ・内容：学校を終了した青年・成人の休日余暇活動の場としての「自由工房」、利用者の心身の状況や希望にあわせた休日の活動を実施。参加希望者がますます増えたため、人数調整を図りながら内容の充実をめざしてきました。

年間実施日数 18日 **年間延べ利用者数 282人**

- ・日時：第1・第3日曜日 時間：11:00～16:00 13:00～16:00
- ・場所：主に片平地域訓練室
- ・従事者：6～8人
- ・対象者：学校卒業後、作業所等に通所している青年・成人
- ・**支出額**：前記ウ)のYou-Youクラブに含む

オ) P-Place（2015年度～）

- ・内容：学校卒業後、日中活動が終わった後の居場所の提供。参加者それぞれが自発的に楽しく充実した時間を過ごせるように支援。

・日時：月～金 16:00～18:00 **年間実施日数 242日** **年間延べ利用数 1480人**

- ・従事者：利用者数に応じ3～4人
- ・場所：地域活動支援センターSeeds（栗木2-2-1）
- ・対象者：日中活動後の時間帯に家族が介護できないため、安心できる居場所を必要としている人。
- ・**支出額**：前記ウ)のYou-Youクラブに含む

② 地域生活支援事業（川崎市指定事業） 移動支援・あんしんサポート

- ・内容：公的機関の利用や社会参加のための外出、通学・通所などの付添、および家庭や自宅周辺での見守りなど、地域での安全で充実した生活を支援するためサポーターを派遣してきました。

・日時：年間随時 利用者の希望に応じて（原則として8:00～21:00）
利用者の受給者証およびサービス利用計画書に位置づけられた内容・時間帯の支援。

- ・場所：川崎市全域
- ・従事者：ヘルパー資格保持者またはサポーター養成研修講座修了者で、法人が適切と認め、登録者証を発行した者 原則として1対1で対応。1対4まで可。

その他 コーディネーター1名、事務担当者6人+登録サポーター約220人

- ・対象者：原則として小学生以上の川崎市在住者 年間利用者数：別紙
身体障害者手帳、療育手帳等保持者および療育機関等で必要を認められた人

・**支出額：33,059,394円**

③ ふれあいガイド（企画型）＝那須ツアー

- ・内容：野外活動ホーム那須わになろうの家を活用して、豊かな自然の中で仲間と協力しあい自立的な生活を体験することを目的に、計画通り年間3回のツアーを実施しました。

- ・日時 第1回 7月16日（土）～18日（月）2泊3日 参加 25名（内ボラスタッフ10名）
第2回 8月27日（土）～28日（日）1泊2日 参加 25名（内ボラスタッフ10名）
第3回 3月18日（土）～19日（日）1泊2日 参加 23名（内ボラスタッフ10名）

- ・場所：野外活動ホーム那須わになろうの家（那須郡那須町豊原丙高津道東3080-5）

- ・従事者：各回10人 対象者：小学生以上の障がいのある人及び家族。

・**支出額：1,025,716円**

④ フリーサポート事業（自主事業）

- ・内容：家族が諸事情で介護できない、制度の利用が困難という人たちへの支援。

ショートステイの送迎、通院、療育センターからの通学、療育通所などの支援をします。

- ・日時：原則として8:00～17:00 必要に応じて相談

- ・場所：利用者の希望される場所

- ・従事者：利用者数に応じて1対1

- ・対象者：支援を必要としている3歳以上の人

・**費用見込み額：車送迎のため、福祉有償運送事業に組込**

⑤ 障害児タイムケアモデル事業（川崎市委託事業）

- ・内容：放課後、長期休暇中等の安全な生活、文化・スポーツ等の活動の支援。

- ・日時：火・木曜日 放課後～18:00（夏休み等 10:00～18:00） 土曜日 13:00～18:00

年間実施日数 147日 年間延べ利用者数 1,153人

- ・場所：主として片平地域訓練所

- ・従事者：利用者に応じて各回5～7人

- ・対象者：支援を必要としている中学生・高校生

・**支出額：7,552,644円**

⑥ ファミリーサポート事業（川崎市指定事業）

- ・内容：療育センターと連携し、障がい児の子育てに困難を抱える家庭を支援。2015年度途中から2家庭に入り支援を行いました。2016年度も継続しました。

さらに、年度途中から中央療育センターからの依頼で、中国から来日した女児の支援を開始し、3ケースに対応しました。

年度途中から急遽支援に入った女児の場合、中国から転居してきたばかりでことばによるコミュニケーションが困難で、中国語・日本語両方が話せるスタッフが対応することにより、利用者本人及び家族により支援を提供することができたと思います。3家庭中、2家庭は2016年度末終了しました。

2017年度は1家庭へのサポートを継続します。

- ・従事者：この事業の従事者として研修を受けた者 1回に一人派遣

- ・対象者：地域療育センターが必要を認めた子どもとその家族。開始時小学校1年の9月ま

で。1件週1～3回派遣、約3ヶ月に1回モニタリング実施。

・**支出額：経費は地域生活支援事業で一括管理**

- ⑦ 子ども（就学前）の発達支援事業（中原区委託事業、中原区保健福祉センター・地域みまもり支援センターとの協働）

ア) 就園前の保護者支援(子育てセミナー)

・内容：特別な支援が必要と思われる親子のグループワークを実施。障害のある子どもの発達理解に関する講演会も実施。

・日時：原則として毎月第2月曜日 10:00～12:00

年間実施回数 9日 年間延べ利用者数 54人

・場所：中原区役所保健福祉センター

・従事者：各回6人+区役所スタッフ

・対象者：2～3歳発達支援が必要と思われる子どもと保護者

イ) 保護者セミナー・就学直前セミナー

・内容：保育園・幼稚園の就園児の保護者のグループワークを実施。就学を直前に控えた保護者のための講演会および情報提供と話し合い。

・日時：原則として毎月第2金曜日（4月を除く）10:30～11:30

年間実施回数 9日 年間延べ利用者数 86人

・場所：中原区役所保健福祉センター

・従事者：各回2～3人+区保健福祉センタースタッフ

・対象者：発達支援が必要な就園児の保護者

・**支出額：860,000円（2つの事業を併せて）**

- ⑧ 地域活動支援センター事業 D型 Seeds（川崎市補助事業 2014年～）

・内容：立地条件を活かし、ランチタイムの弁当製造・販売、アート性の高い作品の制作、農作業など、地域の人々と交流しながら働き、さらに余暇活動にもとりくみました。

・日時：月～金曜日 9:30～16:00

年間実施日数 239日 年間延べ利用者数 1262人

・場所：WORK STUDIO Seeds（麻生区栗木2丁目2番1号）

・従事者：4～8人

・対象者：高等部卒業後、当センターの基本コンセプトに賛同し、仕事に意欲を持った青年 2016年度 社員（利用者）6名 定員9名

・**支出額：21,731,142円**

- ⑨ 野外活動ホーム那須わになろうの家運営事業

・内容：1995年に開設した施設を、その趣旨に則り維持管理・運営し、家族やグループなどに自立生活、余暇活動の場として提供を続けてきました。

・日時：通年 随時 ・場所：栃木県那須郡那須町豊原丙高津道東 3080-5

・従事者：常駐管理人なし 清掃等自主管理 利用コーディネーター1人 **利用状況：別紙**

・対象者：会員の家族、グループ、その支援者など 自主管理できる人

・**支出額：450,707円**

(3) 学習、研修、啓発、広報に関する事業（②以下、自主事業）

- ① 移動支援事業等従事者養成研修事業（川崎市委託事業 2012年度～）

・内容：川崎市と契約した仕様書に基づき、移動支援事業等従事者・行動援護従業者・ファ

ミリーサポート従事者養成のための研修を実施しました。

- ・回数・日程：移動支援事業等従事者養成研修 年4回実施(下記日程)

5月8日、7月9日、10月2日、1月21日

ファミリーサポート従事者研修 年1回実施 10月30日

行動援護従事者養成研修 年3回各3日 9月、10～11月、2月

- ・場所：市内借り会場 川崎市生涯学習プラザ等
- ・従事者：コーディネーター 1人 コーディネーター補助 3人 事務局 1人
その他 研修会毎に外部講師を招聘
- ・対象者：一般市民、福祉事業所職員等（研修の内容により資格限定）
- ・支出額：8,140,000円

② 映画と講演のつどい（川崎市教職員組合障害児教育部と共催）

- ・内容：障がいへの理解を深めるため、映画「海洋天堂」の上映会を実施しました。
- ・日時：年1回 2月12日実施 ・場所：川崎市立中央支援学校 多目的室
- ・従事者：6人 ・参加者：例年より少なく21人でした。
- ・対象者：会員、障がい児者および家族、教員、一般市民
- ・支出額：360円 ※DVD 借料、講師謝礼等の出費は川教組障害児教育部負担

③ 進路に関する学習会（川崎市教職員組合障害児教育部と共催）

- ・内容：特別支援学校、高等学校などの現状について、教育現場の先生からの報告を聞き、後期中等教育・進路保障のあり方を考えあいました。参加者 53人
- ・日時：第1回 10月28日（金） 18:00～20:50 市立中央支援学校多目的室
特別支援学校（養護学校）の過大化問題を考える。
特別支援学校6校からの報告と教委からの説明 意見交換
- 第2回 12月17日（土） 18:00～20:30 生涯学習プラザ
高校問題懇談会 公立高校入学選抜制度説明 サポート校紹介
関心が高く、参加者は例年より多く46人でした。
- ・従事者：8人 ・対象者：後期中等教育に関心のある当事者、家族、教員
- ・支出額：0円 ※報告者への謝礼等の出費は川教組障害児教育部負担

④ 講師派遣

- ・内容：学校や地域社会の障がい者理解を深めるため、子育て・教育・福祉のあり方等に関する学習会、研修会に法人より講師を派遣し、支援のとりくみなどを紹介します。
- ・日時：年間実施 6回 ・場所：要請を受けたところ（学校、団体、事業所等）
- ・従事者：各回1人 ・対象者：当事者、家族、学生、教員、ほか一般市民
- ・支出額：0円

⑤ 特別支援教育担当者学習会

- ・内容：特別支援教育担当教員の学習、実践の交流をおこない、よりよい教育実践への意欲を高めあう目的で、年間11回の学習会実施を目標にしましたが、参加者の都合により年間9回にとどまりました。
- ・日時：毎月第2水曜 18:00～20:30 ・場所：サポートハウス「わにの家」
- ・従事者：各回1～2人 年間 9回実施
- ・対象者：特別支援教育担当教員、ほかボランティア活動参加者など
- ・支出額：0円

⑥ 会報発行

- ・内容：法人の活動紹介・報告、教育・福祉等に関する情報提供。障がい児者に関する学校や地域社会の理解を図るために、毎月1回発行しました。
- ・日時：**毎月1回 約5900部印刷 NO.367号～378号** ・従事者：各回8人
- ・対象者：会員の他、市内特別支援学校・学級の保護者、教員、関係団体など
- ・**支出額：315,146円**

⑦ 区民祭・福祉健康まつり・中身館フェスティバルへの参加

- ・内容：法人の活動の紹介・宣伝をし、地域の障がい者理解を拓げる目的で参加。
- ・日時および場所：6月4日（土）10:00～14:00 中身館フェスティバル（中身館）
10月18日（日）9:00～15:00 中原区民祭（等々力緑地公園）
11月12日（土）9:00～15:00 なかはら福祉健康まつり（中原区役所）
- ・従事者：会員有志（中身館F3人、区民祭15人、福祉健康まつり3人）
- ・対象者：一般市民
- ・**支出額 700円**

(4) 道路運送法第78条第2号による福祉有償運送事業（改正道路運送法に基づく登録事業）

- ・内容：徒歩や公共交通機関での移動が困難な人を登録車両を使い、登録した運転者が送迎し、通院や通学などを支援しました。
- ・日時：利用者の希望日 原則として8:00～21:00
- ・登録事務所：サポートハウス「わにの家」および小幡富士雄宅（麻生区王禅寺東）
- ・従事者：**登録運転者40人**
- ・対象者：移動支援等法人の利用者で、この事業についての利用契約を交わした人
- ・**支出額：1,573,539円**

2) その他の事業（他団体と連携してとりくむ活動）

- 従来どおり川崎市教職員組合障害児教育部および神奈川県立障害児学校教職員組合、川崎障害児者問題研究会とともに共同のとりくみをすすめました。
- 支援を必要とする人たちのニーズに応えられるよう、他の事業者等関係者、行政担当者と積極的に話し合いをもち、諸制度の改善に努めてきました。参加したネットワークは次のとおりです。
 - ◇中原区社会福祉協議会（主にボランティアセンター運営委に参加 年間4回）
 - ◇中原区障害者自立支援協議会（月1回）川崎市障害者自立支援協議会（年1回参加）
 - ◇麻生区障害者自立支援協議会（月1回）
 - ◇中原区総合子どもネットワーク会議（年間3回）
 - ◇中原区子どもの発達支援事業検討会（年間3回）
 - ◇川崎市NPO法人連絡会（2009年7月に発足、月1回定例会）
- 豊かな地域療育を考える連絡会や放課後連などの当法人実施事業内容に直接関わりのあるネットワークを大切に、月1回の定例会には可能な限り主体的に参加、児童期の放課後・休日支援や、移動支援などの地域生活を支える制度の充実を求めて活動します。
 - ◇夏休みを楽しくすごす会（8/8・9・10・17・18 市立中央支援学校で実施）
 - ◇かわさき子ども権利の日事業 フォーラム（11月23日 市立中央支援学校で実施）
 - ◇第37回障害児者問題研究集会 フォーラム（2月26日 市立中央支援学校で実施）